

中学校第1学年鑑賞領域 題材計画とワークシート集



銚田市立銚田南中学校
曾根 博美

目 次

1	ブルタバ（モルダウ） 連作交響詩「我が祖国」から （スメタナ作曲）	1
	題材計画	2
	ワークシート	5
	揭示物	8
2	魔王 （ゲーテ作詞，シューベルト作曲）	9
	題材計画	10
	ワークシート	13
3	春 第1楽章 （「和声と創意の試み」第1集「四季」から） （ヴィヴァルディ作曲）	16
	題材計画	17
	ワークシート	20
4	雅楽「越天楽」 （日本古曲）	23
	題材計画	24
	ワークシート	27
5	追分節「江差追分」 オルティンドー「小さな淡黄色の馬」 （北海道民謡，モンゴル民謡）	30
	題材計画	31
	ワークシート	34

ブルタバ（モルダウ）
連作交響詩「我が祖国」から
（スメタナ作曲）



題材計画

題材名 ブルタバの特徴を文化・歴史とかかわらせて鑑賞しよう

- 1 題材の目標 指導事項 B鑑賞(1)イ
強弱・音色と情景とのかかわりを感じ取って聴き，それらのブルタバの特徴を文化・歴史と関連付けて鑑賞する。
- 2 中心となる音楽を形づくっている要素
強弱，音色
- 3 教材名
ブルタバ（モルダウ） 連作交響詩「我が祖国」から スメタナ作曲

4 題材の評価規準

音楽に対する関心・意欲・態度	鑑賞の能力
ブルタバの特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	強弱・音色を知覚し，情景とのかかわりを感じながら，ブルタバの特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

5 作曲者について

この曲がスメタナによって作曲されたころ，彼の祖国であるチェコはオーストリア帝国の強い支配を受けており，母国語であるチェコ語を話すことも禁じられていた。しかし，国民は祖国チェコへの誇りをもち続けた。

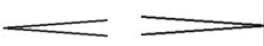
スメタナは，チェコの国民的な音楽を目指し，「チェコ国民音楽の父」とも呼ばれている。連作交響詩「わが祖国」全6曲の中の一つがこのブルタバであり，チェコの母なる川を絵画的に描く。川の名前はチェコ語でブルタバであり，一般的に呼ばれるモルダウはドイツ語である。祖国の独立を願ったチェコの人々にとっては，母国語でブルタバと呼ばれる方がうれしいことだろう。しかし，スメタナはこの曲を作曲中に聴覚を完全に失い，完成後の演奏会を自分の耳で聴くことはできなかった。

現在でもスメタナの命日である毎年5月12日から開催される「プラハの春」音楽祭は，この曲で幕を開ける。（参考：「教科書の確認 音楽 1年」吉野教育図書，「面白いほどよくわかるクラシックの名曲100」多田鏡子 日本文芸出版）

6 ブルタバの背景となる文化・歴史について

楽曲についてより深く理解するための参照資料を以下に示す。

DVD	中学校音楽鑑賞用DVD第1巻（オーケストラとブルタバの映像，字幕説明あり）／教育出版，わが祖国（1990年プラハ・ライヴ）＋祖国との再会（ドキュメント）／ラファエル・クーベリック指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団／DENON
CD	中学生の音楽2・3年下／教育芸術社（情景ごとに再生可）
教科書等	音楽のおくりもの1／教育出版，中学生の音楽2・3下／教育芸術社，教科書の確認 音楽 1年（写真資料が豊富）／吉野教育図書

第1時	【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，掲示物（音量調節ボタンについて，各情景の表題）		
目標	強弱と情景とのかかわりを感じ取って聴き，ブルタバの背景となる文化・歴史と結び付けて鑑賞する。		
中心となる要素		強弱	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動 ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
5	強弱	一斉	<p>ア 1 ブルタバの背景となる文化・歴史について知る。</p> <p>教科書や資料集の地図や写真，ワークシートにまとめてある解説を基に，ブルタバの概要や背景となる文化・歴史，作曲家スメタナについて知る。</p>
5			<p>ア 2 強弱記号を確認する。</p> <p>(1) 譜例に出てくる強弱記号の読みと意味を，ワークシートに記入する。教科書等で調べてもよい。</p> <p><i>pp p mp mf f ff sf sff</i> </p> <p>(2) 全体で読み方と意味を発表し，確認する。</p>
13		個別	<p>イ 3 強弱に気を付けて鑑賞する。</p> <p>(1) 情景ごとの強弱に気を付けながら鑑賞する。</p> <p style="text-align: center;">強弱</p> <p>楽譜の強弱記号を確認しながら各場面の強弱を感じ取って聴き，ワークシートの「音量調節ボタン」に記入する。</p>
12			<p>ウ (2) 情景ごとに演奏を区切って鑑賞し，自分が感じ取って書いた音量の数値について，理由を考える。</p> <p style="text-align: center;">強弱</p> <p>(1) で記入した音量ボタンの数値について，自分がその数値にした理由について考え，ワークシートに記入する。</p>
15		一斉	<p>(3) (1) で記入した音量について，(2) で考えた理由をあげて発表する。</p>

第2時	【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，DVD，掲示物（音色について，各情景の表題）		
目標	強弱・音色と情景とのかかわりを感じ取って聴き，それらのブルタバの特徴を文化・歴史と結び付けて鑑賞する。		
中心となる要素		強弱，音色	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動 ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
5	音色	一斉	ア 1 オーケストラの楽器を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 主な楽器 フルート，オーボエ，クラリネット，ヴァイオリン，ホルン，トロンボーン，チェロ，コントラバス </div>
13		個別	イ 2 DVDで楽器や演奏の様子を見ながら鑑賞する。情景ごとに音色の特徴を「音色メモ」に記入する。例示された音色を表す言葉を参考にしてもよい。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> 音色 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 音色の特徴を情景ごとにメモする。 </div>
7	強弱 音色	個別	ウ 3 学級で一つの情景を選び，強弱や音色と情景のかかわりについて学習する。 (1) 音楽を聴いて感じ取った情景のイメージを書く。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> 強弱 音色 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 音量調節ボタンと音色メモを客観的な理由としてあげながら，この情景を聴いて感じたことや思い浮かんだイメージを言葉に表す。 </div>
10		4人程度のグループ	ウ (2) グループで強弱と音色に関するキーワードを分類し，自分たちから出た「音楽を表す言葉」として発表する。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> 強弱 音色 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (1) で書いた文を基に，強弱と音色それぞれに関するキーワードを抜き出して分類し，グループごとに発表する。 </div>
15		個別	ウ 4 楽曲を通して演奏を聴きながら，まとめの鑑賞をする。 <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> 強弱 音色 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 楽曲を紹介する鑑賞文を書く活動をする。 ブルタバを初めて聴く人に対して紹介するつもりで，要素の特徴を客観的な理由としてあげながら，楽曲全体を聴いて感じたよさや美しさなどについて，自分なりの言葉で書く。 </div>

ワークシート 第1時・第2時共通

ブルタバ 連作交響詩「我が祖国」から (スメタナ作曲)

【めあて】ブルタバの特徴を文化・歴史とかかわらせて鑑賞しよう。

☆エピソード☆ 作曲された当時、チェコは隣のオーストリアから強い支配を受け、母国語であるチェコ語も使えないほどでした。しかし、国民は祖国への誇りを持ち続けます。スメタナは、この曲を作曲中に聴覚を失い、完成後の演奏会も自分の耳で聴くことはできませんでした。国民的な音楽を目指したスメタナは「チェコ国民音楽の父」と呼ばれています。現在でも、毎年5月12日に行われるプラハの春国際音楽祭は、「我が祖国」の演奏で始まります。この川の名前はチェコ語でブルタバ、ドイツ語でモルダウと呼ばれています。

1 ブルタバの二つの水源

この音量にしたのは、どんなイメージが思い浮かんだからか、理由を書こう。

1つの情景で2つ以上書こう。

第1の水源 フルート



第2の水源 クラリネット



音量設定の理由



音色メモ

2 ブルタバの主題

第1 ヴァイオリン、オーボエ



音量設定の理由



音色メモ

記号	読み	意味
<i>pp</i>		
<i>mp</i>		
<i>p</i>		
<i>mf</i>		
<i>f</i>		
<i>ff</i>		
<i>mf</i>		
<i>f</i>		
<i>ff</i>		

pp

mp

p

mf

f

ff

mf

f

ff

3 森の狩猟

ホルン



音量設定の理由



音色メモ

音量設定の理由



音色メモ

4 農民の踊り

第1 ヴァイオリン、クラリネット



「農民の踊り」は、チェコから広まった「ポルカ」という2拍子の踊りのリズムが特徴的なんだよ！

のりしろ（1枚目とつなげて川の様子ができるようにする）

5 月の光・水の精の踊り

水の精 フルート

月の光 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ

音量設定の理由

音色メモ

6 ブルタバの主題

音量設定の理由

音色メモ

7 聖ヨハネの急流

金管楽器、チェロ、コントラバス

音量設定の理由

音色メモ

8 堂々と流れて行く～ビシェフラト

主題 ドッコロ、フルート、オーボエ、第1ヴァイオリン

ビシェフラト 木管楽器、金管楽器

音量設定の理由

音色メモ

情景（ ）を聴いて感じたこと、思い浮かんだイメージ
 ☆（音楽の特徴 強弱・音色をもとに）を聴いて（こんな情景）が想像できたという形で表そう。

強弱

音色

1年 組 番 氏名

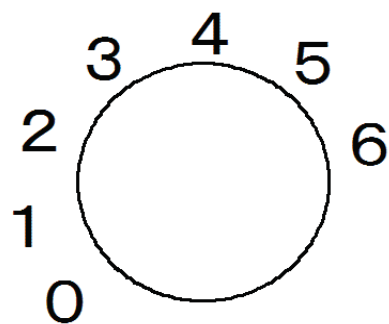
ブルタバ連作交響詩「我が祖国」から（スメタナ作曲）学習カード

1年 組 番 氏名	
第1時 月 日	めあて
学習を 振り返って	強弱と情景とのかかわりを感じ取って聴くことができましたか。 A 十分できた B だいたいできた C あまりできなかった
強弱に気を付けて聴いて気付いたこと	
第2時 月 日	めあて
学習を 振り返って	強弱・音色を感じ取って聴いたことを基に紹介文を書くことができましたか。 十分できた B だいたいできた C あまりできなかった
グループ学習をして気付いたこと	

まとめの鑑賞

♪ブルタバを初めて聴く人に対して紹介しましょう。要素（強弱と音色）を理由としてあげながら、楽曲全体を聴いて感じたよさや美しさなどについて、自分の言葉で書きましょう。

強 弱



音量調節ボタン

自分が感じ取った強弱を音量調節ボタンに記入しよう

- 0・・・聞こえない
- 1・・・とても弱い
- 2・・・弱い
- 3・・・少し弱い
- 4・・・少し強い
- 5・・・強い
- 6・・・とても強い

音 色

- ・ 声や楽器の音色
- ・ 発声や楽器の奏法で生まれるもの
- ・ 組合せや変化

音色メモの例

やわらかい かたい
なめらか ごつごつ
やさしい するどい
つめたい とがった
まるい ほそい ふとい
くらい あかるい
きらきらした
さらさらした
ゆらゆらした
まろやかな すきとおった
あたたかい など自由に…

魔王

(シューベルト作曲)



題材計画

題材名 魔王の特徴を登場人物の心情とかかわらせて鑑賞しよう

- 1 題材の目標 指導事項 B鑑賞(1)ア
強弱・音色・旋律と登場人物の心情や情景とのかかわりを感じ取って聴き、それらの要素の特徴から生まれる曲想を味わって鑑賞する。
- 2 中心となる音楽を形づくっている要素
強弱，音色，旋律
- 3 教材名
魔王 (ゲーテ作詞，シューベルト作曲)
- 4 題材の評価規準

音楽に対する関心・意欲・態度	鑑賞の能力
強弱，音色，旋律と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	強弱，音色，旋律を知覚し，登場人物の心情とのかかわりを感じながら，解釈したり価値を考えたりし，紹介文を書く活動を通して，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

- 5 作曲者について

<p>作詞はドイツのゲーテで，詩・小説・戯曲などに優れた作品を残している。</p> <p>作曲者のシューベルトはオーストリアのウィーン郊外に生まれ，11歳で宮廷の少年合唱隊（現在のウィーン少年合唱団）に採用され，15歳ごろには作曲を始めた。31歳で亡くなるまでの間に600曲以上の歌曲をはじめ，管弦楽曲，ピアノ曲など数多くの作品を残した。はじめは教師になったが，いつも頭の中にわき上がってくる音楽を書き留めるのに夢中で授業にならず，音楽活動に専念するようになった。そのため，経済的には不安定で，友達の援助を受けて内輪のサロン・コンサートを開いてもらったが，正式なコンサートは一度も開けなかった。</p> <p>魔王は，シューベルトが18歳の時にゲーテの詩を読んで一気に書き上げた。家にはピアノがなかったので走って学校へ行き，できあがったばかりの魔王を歌い，その出来栄えに夢中になった。</p> <p>シューベルトは，「わたしの創造物は，音楽への理解とわたしの苦しみから生まれたものだ。」という言葉を残している。（参考：「音楽のおくりもの1」教育出版，「面白いほどよくわかるクラシックの名曲100」多田鏡子 日本文芸出版）</p>
--

- 6 魔王の背景となる文化・歴史について

楽曲についてより深く理解するための参照資料を以下に示す。

DVD	中学校音楽鑑賞用DVD第1巻／教育出版（ドイツ語版のみ，シューベルト時代のピアノを使用）
CD	中学生の音楽1年／教育芸術社（登場人物別，伴奏のみ，など含む）
教科書等	音楽のおくりもの1／教育出版，中学生の音楽1年／教育芸術社，教科書の確認 音楽 1年／吉野教育図書

第1時		【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，掲示物（音量調節ボタンについて，音色メモについて）	
目標		登場人物の心情と強弱，声の音色の特徴やその変化とのかかわりを感じ取って聴き，それらの特徴と曲想とのかかわりを結び付けて鑑賞する。	
中心となる要素		強弱，音色	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動
			ア 興味・関心を高める活動；イ 知覚・感受する活動；ウ 思考・判断する活動
15	強弱	一斉	ア 1 教科書や資料を基に，魔王の物語や作曲者，作詞者について知る。 (1) 演奏形態や声の種類について知る。 ・魔王はピアノ伴奏付きのバリトン独唱である。 ・女声の高い順にソプラノ，メゾソプラノ，アルト，男声の高い順にテノール，バリトン，バス。
5			イ 2 登場人物を確認し，魔王（原曲）を鑑賞する。 (1) 登場人物ごとの強弱に気を付けながら鑑賞する。 強弱 楽譜の強弱記号を確認しながら各場面の強弱を感じ取って聴き，ワークシートの「音量調節ボタン」に記入する。 (2) 登場人物ごとに音色の変化に気を付けながら鑑賞する。 音色
20		個別	イ 登場人物ごとの音色の特徴や変化に気を付けて聴き，ワークシートに音色の特徴や変化について「声の音色メモ」に記入する。 (例) 子の声の特徴： 他の登場人物よりも 声の-highが-high。 子の声の変化： 子は4回登場するが， 音の-highが-highな って-high。
15	強弱	一斉	ウ 3 強弱，声の音色の特徴とその変化，登場人物の心情を表す曲想とのかかわり感じ取る。 3でメモしたことを基に，シューベルトが行った強弱や声の音色の工夫を客観的な理由としてあげながら，登場人物の心情を表す曲想をどのように感じ取ることができたか，ワークシートにまとめ，発表する。

第2時		【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，DVD，掲示物（音量調節ボタンについて，音色メモについて）	
目標		強弱・音色・旋律と登場人物の心情とのかかわりを感じ取って聴き，それらの要素の特徴から生まれる曲想を味わって鑑賞する。	
中心となる要素		強弱，音色，旋律	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動
			ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
15	強弱 旋律 音色	個別	<p>1 ピアノ伴奏の効果を感じ取る。</p> <p>イ (1) ピアノ伴奏に気を付けて聴き，登場人物ごとの伴奏の弾き方や特徴に気付く。</p> <p style="text-align: center;">(強弱，音色，旋律)</p> <p>ピアノ伴奏の長調・短調の別や，特徴に気を付けて聴き，ピアノ伴奏メモに気づいたことを記入する。</p>
			<p>10</p> <p>ウ (2) 調の違いによる雰囲気の違いを感じ取る。</p> <p style="text-align: center;">(強弱，音色，旋律)</p> <p>長調の場面と短調の場面でどのような雰囲気の違いを感じたか，ワークシートに記入する。</p>
15		4人程度のグループ	<p>ウ 2 ピアノ伴奏の特徴をいくつかのパターンに分類する。</p> <p style="text-align: center;">(強弱，音色，旋律)</p> <p>グループで，要素の特徴を組み合わせたいくつかの伴奏パターンを見つけ，同じものがどこに表れているか考え，発表する。</p>
10		個別	<p>ウ 3 CDやDVDで原曲，日本語版を鑑賞しながら，まとめの鑑賞をする。</p> <p style="text-align: center;">(強弱，音色，旋律)</p> <p>紹介文を書く活動をする。 魔王を初めて聴く人に対して紹介するつもりで，要素の特徴を客観的な理由としてあげながら，楽曲全体を聴いて感じたよさや美しさなどについて，自分なりの言葉で書く。</p>

ワークシート 第1時 音色の特徴を感じ取る

魔王 (ゲーテ作詞, シューベルト作曲)

【めあて】登場人物の心情と強弱, 声の音色の特徴を感じ取って鑑賞しよう。

語り手

語り手の音量は全体的にどれぐらいだろう

語り手 声の音色メモ

①他の人物と比べた歌い方の特徴

1回目

②最初と最後に登場するが, どのような違いを感じ取れるだろう?

2回目

父

父の音量は全体的にどれぐらいだろうか

父 声の音色メモ

①他の人物と比べた歌い方の特徴

1回目

2回目

②4回登場するが, どのような変化を感じ取れるだろう?

3回目

4回目

魔王 魔王の音量を1回目~3回目に分けて記入しよう

魔王 声の音色メモ

①他の人物と比べた歌い方の特徴

1回目

2回目

②3回登場するが, どのような変化を感じ取れるだろう?

3回目

子 子の音量を1回目~4回目に分けて記入しよう

子 声の音色メモ

①他の人物と比べた歌い方の特徴

1回目

2回目

②4回登場するが, どのような変化を感じ取れるだろう?

3回目

4回目

【男声の種類】

【女声の種類】

(高い)
テノール
バリトン
バス
(低い)

(高い)
ソプラノ
メゾソプラノ
アルト
(低い)

魔王は, 主にバリトン歌手によって歌われます。バリトンの音域 (声の高さの範囲) は, テノールとバスの中に位置し, 音域が比較的広く, 豊かな表現を生み出します。

1年 組 番 氏名

ワークシート 第2時 各登場人物ごとのピアノ伴奏の特徴を感じ取る

魔王 (ゲーテ作詞, シューベルト作曲)

【めあて】登場人物の心情と強弱, 音色, 旋律の特徴を感じ取って鑑賞しよう。

☆ピアノ伴奏の音色に気を付けて鑑賞しよう☆



1 前奏

速く ♩ = 157

長調・短調
伴奏が表現するのは

2 語り手 1 ピアノ伴奏メモ

長調
短調

3 父 1 ピアノ伴奏メモ

長調
短調

4 子 1 ピアノ伴奏メモ

長調
短調

5 父 2 ピアノ伴奏メモ

長調
短調

6 魔王 1 ピアノ伴奏メモ

長調
短調

7 子 2 ピアノ伴奏メモ

長調
短調

8 父 3

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

9 魔王 2

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

10 子 3

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

11 父 4

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

12 魔王 3

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

13 子 4

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

14 語り手 2

長調
短調

ピアノ伴奏メモ

この場面の伴奏が表現するのは

♪伴奏の調によってどのような雰囲気生まれるだろうか。
長調のとき

短調のとき

♪伴奏にはどのようなパターンがあっただろうか？

A : 前奏と似たタイプ

B :

C :

D :

E :

シューベルトは、オーストリアのウィーン郊外で生まれました。11歳で現在のウィーン少年合唱団に採用され、15歳ごろから作曲を始めました。31歳で亡くなるまでに600曲以上の歌曲を残し、「歌曲の王」と呼ばれています。魔王は18歳のときの作品です。

魔王はドイツのゲーテによって作詞されました。歌詞はドイツ語です。隣同士の国である、ゲーテのドイツもシューベルトのオーストリアも、話される言語は同じドイツ語なのです。

1年 組 番 氏名

魔王 学習カード 1年 組 番 氏名 _____

第1時 月 日	めあて
学習を 振り返って	人物ごとの強弱，音色の特徴を感じ取って聴くことができましたか。 A 十分できた B だいたいできた C あまりできなかった
強弱・音色に気を付けて聴いて気付いたこと	
第2時 月 日	めあて
学習を 振り返って	ピアノ伴奏の特徴を感じ取って聴くことができましたか。 A 十分できた B だいたいできた C あまりできなかった
グループ学習をしてよかったこと	

♪魔王を初めて聴く人に対して紹介しましょう。要素（強弱，音色，旋律）を理由としてあげながら，楽曲全体を聴いて感じたよさや美しさなどについての言葉で書きましょう。

春 第1楽章

（「和声と創意の試み」第1集「四季」から）

（ヴィヴァルディ作曲）



題材計画

題材名 春 第1楽章の特徴を情景とかかわらせて鑑賞しよう

- 1 題材の目標 指導事項 B鑑賞(1)ア
音色・旋律・形式と情景とのかかわりを感じ取って聴き，春 第1楽章の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞する。
- 2 中心となる音楽を形づくっている要素（以下，要素と表す）
音色，旋律，形式
- 3 教材名
春 第1楽章（「和声と創意の試み」第1集「四季」から）
(ヴィヴァルディ 作曲)

4 題材の評価規準

音楽に対する関心・意欲・態度	鑑賞の能力
音色・旋律・形式と曲想とのかかわりに関心をもち，音楽の特徴とその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音色・旋律・形式を知覚し，情景とのかかわりを感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

5 作曲者について

<p>ヴィヴァルディはイタリアのベネチアに生まれ，10歳でオーケストラの見習いになるほど，優れたヴァイオリニストであった。25歳ごろから，音楽教師をしながら，生徒たちの演奏会のために膨大な数の協奏曲を作曲した。</p> <p>ヴィヴァルディの生きた時代を音楽の歴史ではバロック時代と呼ぶ。ヨーロッパではこのころチェンバロやオルガン，ヴァイオリンなどが完成した。代表的な作曲家としては，バッハ，ヘンデルがいる。</p> <p>「四季」は，ソネットという短い詩に基づいて作られた，独奏ヴァイオリン，チェンバロ，弦楽合奏（第1ヴァイオリン，第2ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス）のための協奏曲である。演奏は，弦楽合奏と独奏が交互に現れる，ヴィヴァルディが確立した「リトルネッロ形式」である。この曲の楽譜が発見され，出版されたのは1949年で，イタリアの「イ・ムジチ合奏団」によって大ヒットした。ヴァイオリンを完成させた国だけあって，イタリアのバロック音楽は弦楽器のアンサンブルの美しさが印象的である。（参考：「中学生の音楽 1」教育芸術社，「教科書の確認 音楽 1年」吉野教育図書，「面白いほどよくわかるクラシックの名曲100」多田鏡子 日本文芸出版）</p>

6 春の背景となる文化・歴史について

楽曲についてより深く理解するための参照資料を以下に示す。

DVD	中学校音楽鑑賞用DVD第1巻／教育出版
CD	中学生の音楽1年／教育芸術社
教科書等	音楽のおくりもの1／教育出版，中学生の音楽1年／教育芸術社，教科書の確認 音楽 1年／吉野教育図書

第1時	【準備物】 教科書，資料集，CD，DVD，掲示物（音色メモについて，ソネット）		
目標	音色と情景とのかかわりを感じ取って聴き，春 第1楽章の背景となる文化・歴史と結びつけて鑑賞する。		
中心となる要素		音色	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動 ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
5	音色	個別	1 音色に注目して情景を想像しながら鑑賞する。 (1) 春という曲名だけを手がかりに，第1楽章を通して鑑賞する。
10			イ (2) A～Eの情景ごとに音色に注目して鑑賞する。 音色 情景ごとに独奏ヴァイオリンの音色の特徴をメモしながら聴く。
10			ウ (3) 各情景ごとに，音楽を聴いて思い浮かべた情景を言葉に表す。 音色 (2) で書いたメモを基に，独奏ヴァイオリンの音色の特徴によってどのような情景を思い浮かべたかをワークシートに記入する。
10			ウ (4) 教科書等でソネットを読み，作曲者が表現した春の情景について知る。その上で，春 第1楽章を鑑賞する。 音色 ソネットを知ってから聴いて感じたことをワークシートに追記する。
15		一斉	ア 2 春 第1楽章の演奏形態や背景となる文化・歴史，作曲者ヴィヴァルディについて知る。 (1) 演奏形態と楽器の名前について確認し，DVDで鑑賞する。 ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，チェンバロ (2) 背景となる文化・歴史，作曲者について知る。 ・作曲者ヴィヴァルディとバロック時代について ・ヴァイオリンはイタリアで完成したこと




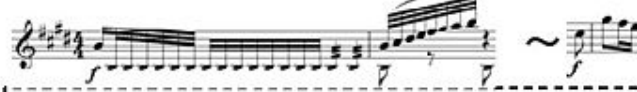

第2時		【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，掲示物（旋律・形式について）	
目標		音色・旋律・形式と情景とのかかわりを感じ取って聴き，春第1楽章の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞する。	
中心となる要素		音色，旋律，形式	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動
			ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
10	旋律	4人程度のグループ	イ 1 春 第1楽章の旋律に気を付けて鑑賞する。 (1) 同じ旋律の現れ方に気を付けて聴く。 旋律 何度も現れる同じ旋律に気を付けて聴き，A～Eに共通して現れる部分に○をつける。
15			ウ (2) グループごとに，同じ旋律が何度も現れることの効果について考える。 旋律 Aの7小節目からの旋律と同じような旋律がB，C，D，Eそれぞれの終わりに現れることによって，どのような気分を表現しているかを考
5	形式	一斉	イ 2 春の形式に気を付けて鑑賞する。 (1) 独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の現れ方に気を付けて聴く。 形式 独奏ヴァイオリンと弦楽合奏が交互に現れることに気付く。独奏ヴァイオリンの演奏時は右手，弦楽合奏時は左手を挙げる活動をする。
5			ア (2) (1) で感じ取った形式について知る。 ・ヴィヴァルディが確立した形式で，リトルネッロ形式と呼ばれる。
15	音色 旋律 形式	個別	ウ 3 まとめの鑑賞をする。 音色 旋律 形式 紹介文を書く活動をする。 春を初めて聴く人に対して紹介するつもりで，要素を理由としてあげながら，楽曲全体を聴いて感じたよさや美しさなどについて，自分の言葉で書く。

ワークシート 第1時 音色と情景とのかかわりを感じ取って聴く

春 第1楽章（「和声と創意の試み」第1集「四季」から）（ヴィヴァルディ作曲）

【めあて】音色と情景とのかかわりを感じ取って聴き、春の背景となる文化・歴史と結び付けて鑑賞しよう。

1年 組 番
氏名

<p>A</p>  <p>♪音色メモ♪</p>	<p>♪音色に気を付けて聴き、 思い浮かんだ情景♪</p>	<p>♪ソネットを知ってから聴いて感じたこと♪</p>
<p>B</p>  <p>♪音色メモ♪</p>		
<p>C</p>  <p>♪音色メモ♪</p>		
<p>D</p>  <p>♪音色メモ♪</p>		
<p>E</p>  <p>♪音色メモ♪</p>		

作曲者のヴィヴァルディ（1678年～1741年）はイタリア生まれ。10歳でオーケストラの見習いになるほど、優れたヴァイオリン奏者であった。

この曲は、独奏ヴァイオリンと、弦楽合奏（第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス）とチェンバロで演奏する。「四季」は、ソネットという短い詩をもとに作られている。

♪バロック時代の音楽♪

1600年～1750年ごろ

ヴィヴァルディの生きた時代を音楽の歴史ではバロック時代と呼ぶ。ヨーロッパではこのころチェンバロやオルガン、ヴァイオリンなどの楽器が完成した。

それまでは声楽が中心だったが、楽器の改良と開発が熱心に行われ、器楽（特にヴァイオリン属、チェンバロ、リコーダー、トロンボーンなど）が盛んになった。

ワークシート 第2時 音色・旋律・形式と情景とのかかわりを感じ取って聴く

春 第1楽章（「和声と創意の試み」第1集「四季」から）（ヴィヴァルディ作曲）

【めあて】 音色・旋律・形式と情景とのかかわりを感じ取って聴き、春の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞しよう。

1年 組 番
氏名

1 A～Eに共通して現れる旋律に○を付けよう。

A

「春がやって来た。」
tutti
f p
3
9
12
p
solo
（鳥の鳴き声）

B

「小鳥は楽しい歌で、春を歓迎する」
p ~ f

C

「泉はそよ風に誘われ、ささやき流れていく。」
p ~ f

D

「黒雲と稲妻が空を走り、雷鳴は春が来たことを告げる」
f ~ f

E

「あらしがやむと、小鳥はまた歌い始める」
mf ~ f

2 1で確認した旋律が何度も現れることによって、どのような気分を表現しているだろうか。

第1楽章は、全合奏（音楽用語でtuttiという）と独奏（音楽用語でsolo）が反復する形になっています。これを（ ）形式といいます。

雅樂「越天樂」

(日本古曲)



題材計画

題材名 雅楽「越天楽」の特徴を文化・歴史とかかわらせて鑑賞しよう。

- 1 題材の目標 指導事項 B鑑賞(1)イ
音色・リズム・速度の働きが生み出す雰囲気を感じながら、雅楽「越天楽」の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて鑑賞する。
- 2 中心となる音楽を形づくっている要素(以下、要素と表す)
音色, リズム, 速度
- 3 教材名
雅楽「越天楽」 (日本古曲)

4 題材の評価規準

音楽に対する関心・意欲・態度	鑑賞の能力
雅楽「越天楽」の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音色・リズム・速度をを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、雅楽「越天楽」の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて、解釈したり価値を考えたりして鑑賞している。

5 楽曲の背景

雅楽は5世紀以後中国大陸や朝鮮半島などから伝わった音楽と、日本に古くからあった音楽が影響し合って生まれた。現在では宮内庁式部職楽部を中心に継承され、演奏されている。日本の音楽はもともと楽譜はない。雅楽の場合、楽師から次の世代の楽師へ教え伝えられてきた。このような努力が千年以上も前から現在も続けられている。

雅楽には主に舞楽(舞が中心)、管絃(楽器だけで演奏)、歌物(歌が中心)の3種があり、「越天楽」は管絃である。昔から人々に親しまれ、歌詞を付けて歌うようになったものが越天楽今様、民謡になって広まったものが福岡県地方の黒田節である。

「調子がいい」の「調子」は、雅楽の言葉がもとになっている。「千秋楽」という言葉も、いつも行事の最後に演奏する「千秋楽」という曲名から、相撲や芝居の最終日を千秋楽と呼ぶようになったといわれている。

(参考:「中学音楽1 音楽のおくりもの」教育出版,「教科書の確認 音楽1年」吉野教育図書,「音楽/表現と鑑賞の資料」正進社)

6 雅楽「越天楽」の背景となる文化・歴史について

楽曲についてより深く理解するための参照資料を以下に示す。

DVD	中学校音楽鑑賞用DVD第1巻/教育出版
CD	中学生の音楽2・3年下/教育芸術社
教科書等	音楽のおくりもの1/教育出版, 中学生の音楽2・3年下/教育芸術社, 教科書の確認 音楽 1年/吉野教育図書

第1時		【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，DVD，掲示物（速度について）	
目標		音色・リズム・速度の働きが生み出す雰囲気を感じながら，我が国の伝統音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と結び付けて鑑賞する。	
中心となる要素		音色，リズム，速度	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動
			ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
5	音色	個別	イ 1 音色に気を付けてCDを鑑賞する。 音色 最初の楽器の重なりに気を付けて聴き，楽器の加わる順番をワークシートに記入する。
15	速度		2 速度に注目して鑑賞する。 (1) 越天楽の速度の特徴について考える。「変化あり(どのように)」「変化なし」のどちらかに予想する。 (2) 速度に注目して鑑賞する。(※鑑賞後に全体で確認する。) 速度 速度に気を付けて聴き，変化しているかどうか，変化したとすればどのような変化なのかを感じ取り，ワークシートに記入する。
10		一斉	ア 2 黒田節，越天楽今様を鑑賞する。 音色 リズム 速度 ・越天楽今様は，越天楽の旋律に歌詞を付けて歌うようになったものである。 ・福岡県民謡の黒田節は，「越天楽」の旋律が民謡化したものである。
	音色 リズム 速度	個別	ウ 3 まとめの鑑賞をする。 紹介文を書く活動をする。 雅楽「越天楽」を初めて聴く人に対して紹介するつもりで，要素を客観的な理由としてあげながら，楽曲全体を聴いて感じたよさや美しさなどについて，自分なりの言葉で書く。

ワークシート 第1時 音色・リズムを感じ取る

雅楽「越天楽」 (日本古曲)

【めあて】楽器の音色とリズムの特徴を感じ取って鑑賞し、日本の伝統音楽に親しもう。

♪雅楽の歴史♪

雅楽は、奈良時代に中国大陸から伝わった音楽と、日本に古くからあった音楽が影響し合って生まれました。雅楽には「舞楽（舞の付く音楽）」「管絃（楽器だけの音楽）」「神楽歌（儀式の音楽）」の3種類があります。現在では、主に宮内庁式部職楽部の演奏家である楽師によって伝えられています。雅楽には楽譜がなく、楽師が次の世代の楽師へ教え伝えてきました。このような努力が千年以上も前から続けられているのです。

♪雅楽の楽器♪

「越天楽」に使われる楽器は「吹きもの（管楽器）」「弾きもの（弦楽器）」「打ちもの（打楽器）」の3種類に分類されます。

分類	楽器名	特徴
吹きもの	笙（しょう）	細い17本の竹を束ねた楽器。和音を受け持つ。吹いても吸っても音が出る。演奏前と後に火鉢で暖め、乾燥させる。
	竜笛（りゅうてき）	高い音域の主旋律や装飾音を吹く竹製の横笛。
	篳篥（ひちりき）	2枚リードを持つ竹製のたて笛。主旋律を受け持つ。
弾きもの	楽箏（がくそう）	13本の弦を、指に付けた爪を使って弾く。
	楽琵琶（がくびわ）	4本の弦を、ばちを使って弾く。主に分散和音のように弾く。
打ちもの	鉦鼓（しょうこ）	金属製。2本のばちを使って皿状のへこんだ面を打つ。
	鞆鼓（かっこ）	2本のばちで革の両面を打つ。楽長が受け持ち、全体の速さをリードする。
	釣太鼓（つりだいこ）	2本のばちで太鼓の片面を打つ。

♪リズムに注目♪ 演奏に合わせて指揮をしてみよう。何拍子だろうか。また、西洋音楽と比べてどのような特徴があるだろうか。

♪音色に注目1♪ 鑑賞して、一番音色が気に入った楽器はどれですか？

音色が気に入った理由を考えてみよう。

1年 組 番 氏名

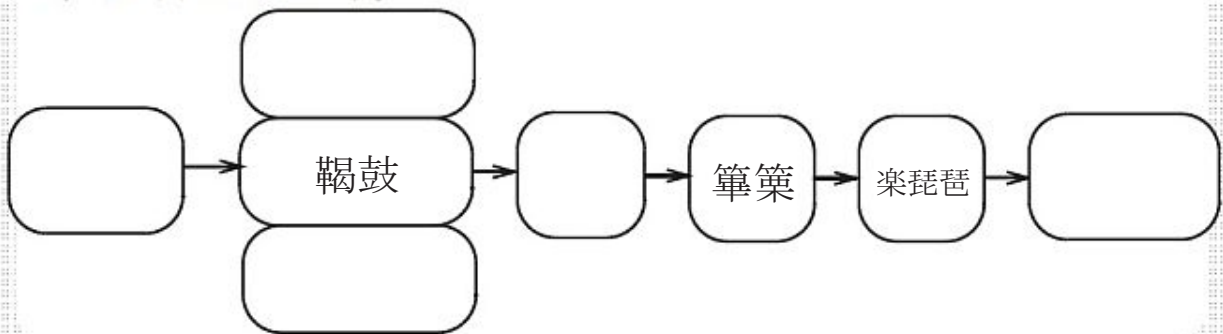
ワークシート 第2時 速度の変化を感じ取る

雅楽「越天楽」 (日本古曲)

【めあて】楽器の音色と速度の特徴を感じ取って鑑賞し、日本の伝統音楽に親しもう。

♪音色に注目♪

楽器の重なりに気を付けて鑑賞しよう。どのような順序で楽器が加わってくるか、下の図にまとめよう。



♪速度に注目♪

「越天楽」の速度は…

- ア 変化する (どのように)
- イ 変化しない

聴いて確かめよう！

「越天楽」の速度の特徴は…



♪親しまれる「越天楽」の旋律♪

越天楽今様・・・「越天楽」の旋律に歌詞を付けて歌うようになったもの。



は る の や よ い の あ げ ぼ の に

黒田節・・・「越天楽」の旋律が民謡になって広まった。福岡県民謡。



さ り は の め の め の め な ら ば

1年 組 番 氏名

追分節「江差追分」

(北海道民謡)

オルティンドー「小さな淡黄色の馬」

(モンゴル民謡)



題材計画

題材名 追分節「江差追分」とオルティンドー「小さな淡黄色の馬」の音楽の特徴を比較して鑑賞しよう。

1 題材の目標 指導事項 B鑑賞（1）ウ

音色・旋律・構成の働きが生み出す雰囲気を感じながら、追分節「江差追分」とオルティンドー「小さな淡黄色の馬」の特徴を比較して聴き、音楽の多様性を感じ取って鑑賞する。

2 中心となる音楽を形づくっている要素（以下、要素と表す）

音色，旋律，構成

3 教材名

追分節「江差追分」 （北海道民謡）

オルティンドー「小さな淡黄色の馬」 （モンゴル民謡）

4 題材の評価規準

音楽に対する関心・意欲・態度	鑑賞の能力
「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音色・旋律・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら江差追分と小さな淡黄色の馬の特徴から音楽の多様性を感じ取って、解釈したり価値を考えたりして鑑賞している。

5 楽曲の背景

追分節は、江戸時代から信州中山道で歌われた馬子唄がルーツであると言われている。「江差追分」は、蝦夷地での大成を夢見て北前船に乗り込んだ北陸の若者が、長い航海の末にかもめの鳴き声に目を覚ますと、そこには夢に見た蝦夷地の山が見え、期待と不安に胸を膨らませながらも、故郷の親兄弟などと別れてきた心情を歌っている。現在は北海道の無形民俗文化財として指定されている。

オルティンドーはモンゴルの代表的な歌唱法である。「長い唄」という意味で、声を長くのばして歌う民謡の形式のことであり、拍節感のない自由なリズムで歌われる。特に高音を強調し、細かい装飾音を特徴としている。歌詞は、自然を歌ったものが一番多く、自由に歌い上げ、歌い手によって個性がある。2000年以上の歴史があるが、都市化、工業化が進み伝統的な遊牧民のライフスタイルが変化し、楽曲が減り、残った唄も画一化しているという。（参考：「中学音楽1 音楽のおくりもの」教育出版、「中学生の音楽2・3上」教育芸術社）

6 江差追分と小さな淡黄色の馬の背景となる文化・歴史について

楽曲についてより深く理解するための参照資料を以下に示す。

DVD	中学校音楽鑑賞用DVD第1巻／教育出版
CD	中学生の音楽2・3年上／教育芸術社
教科書等	音楽のおくりもの1／教育出版，中学生の音楽2・3年上／教育芸術社，教科書の確認 音楽 1年／吉野教育図書

第1時	【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，DVD，掲示物（歌詞について）		
目標	歌声や楽器の音色が生み出す雰囲気を感じながら、「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」の特徴を感じ取って鑑賞する。		
中心となる要素		音色	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動 ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
20	音色	個別	イ 1 2曲を聴き，どこの国の音楽なのかを考える。 (1) 「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」を聴く。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">音色</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">2曲を聴き，音色の特徴からどちらが日本の音楽でもう一方はどこの国の音楽なのかを予想する。</div> ウ (2) (1) で判断した理由を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">(1) での予想は，どのような音色の特徴が理由でできたのか，できるだけ多くの理由をあげ，ワークシートに記入する。</div>
15		一斉	ア (3) 予想とその理由を発表する。 2 2曲の背景となる文化や歴史について知る。 (1) オルティンドーについて知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・オルティンドーとは「長い歌」という意味であること。 ・歌詞は自然や親，親友への愛を表現するものが多いこと。 ・歴史は2000年以上と言われるが，歌の数や種類が減ってきていること。 </div> ア (2) 追分節について知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・信州の馬子唄が伝えられたものがもとになっていること。 ・日本の歌は伝統を正確に受け継ぐという文化があること。 </div> (3) 「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」の歌詞の内容について知る。
15		4人程度 のグループ	イ 3 音楽を聴いて演奏形態を感じ取る。 (1) それぞれの曲を聴き，演奏形態を感じ取る。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px; display: inline-block;">音色</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">音楽から，歌の他にどのような音色が聞き取れるかをメモする。</div> イ (2) 使われている楽器について考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">(1) で聞き取った音色はどのような楽器によるものなのかをグループで考え，ワークシートに記入する。</div> (3) 演奏形態を映像で確認する。（※教科書や資料の地図や写真を見ながら学習する。）
		一斉	

第1時		【準備物】 教科書，資料集，ワークシート，CD，DVD，掲示物（歌詞について）	
目標		音色・旋律・構成の働きが生み出す雰囲気を感じながら，「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」の特徴を比較して聴き，音楽の多様性を感じ取って鑑賞する。	
中心となる要素		音色，速度，形式	
時間 (分)	要素	学習 形態	学習活動
			ア 興味・関心を高める活動 イ 知覚・感受する活動 ウ 思考・判断する活動
15	音色 旋律 構成	個別	イ 1 「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」を比較する。 (1) 2曲を観点ごとに比較し，特徴を感じ取る。 <div style="text-align: center;"> 音色 旋律 構成 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 声の高さ，声の装飾，発声，コブシ，はやしことばについて比較し，ワークシートに記入する。 </div>
10			ウ (2) 似ているところと異なるところ，片方にしかない特徴に分類する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 2曲を比較して似ているところは○印，異なるところは△印，どちらか一方にだけあるものは☆印を塗りつぶす。 </div>
5			(3) 全体で確認する。
20		個別	ウ 2 まとめの鑑賞をする。 <div style="text-align: center;"> 音色 旋律 構成 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 紹介文を書く活動をする。 「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」を誰かに対して紹介するつもりで，2曲を比較して聴いて感じた共通点や固有性などを理由としてあげながら，音楽のよさや美しさなどについて，自分なりの言葉で書く。 </div>

ワークシート 第1時 音色の特徴を感じ取る

【めあて】 歌声や楽器の音色の特徴を感じ取ろう。

1 次に聴く2曲は、どちらが日本の音楽でどちらがモンゴルの音楽だと思えますか。特徴をメモしながら聴き、予想してみよう。

音楽その1

曲名「」

音色メモ

国は（）です。

理由は（）だからです。

音楽その2

曲名「」

音色メモ

国は（）です。

理由は（）だからです。

下の曲紹介と線で結ぼう！

● モンゴル オルティンドー「小さな淡黄色の馬」

オルティンドーは「長い歌」という意味です。自然や親、親友への愛を表現する歌詞が多いです。歴史は2000年以上と言われますが、伝統的な遊牧民の暮らしが、工業化や都市化で変化したことや、草原が砂漠化してきていることから、歌の数や種類が減ってきています。オルティンドーとは一つの曲の名前ではありません。自由に歌ってよいので、同じ歌を歌っても、歌い手によって個性があります。

● 日本 追分節「江差追分」

北海道地方の民謡です。信州の馬子唄が基になっていて、江戸時代に北陸から蝦夷地へ向かう北前船に乗って伝えられたといわれています。この曲に限らず、日本の民謡は伝統を正確に受け継ぐという文化があります。

2 曲の背景について知ろう。

3 演奏形態を感じ取ろう。

歌の他に聴き取れるのは、こんな音色

使われている楽器は、これだ！

歌の他に聴き取れるのは、こんな音色

使われている楽器は、これだ！

1年 組 番 氏名

ワークシート 第2時 音色の特徴を感じ取る

「江差追分」（北海道民謡）と「小さな淡黄色の馬」（モンゴル民謡）

【めあて】 歌声や楽器の音色の特徴を感じ取ろう。

1 「江差追分」と「小さな淡黄色の馬」を比べて特徴を探そう。

比べるもの	「江差追分」		「小さな淡黄色の馬」
(例) 演奏形態	歌い手 三味線 尺八	● △ ☆	歌い手 馬頭琴
声の高さ		○ △ ☆	
発声の仕方		○ △ ☆	
コブシ		○ △ ☆	
はやしことば		○ △ ☆	
その他 気付いたこと		○ △ ☆	

分類して○か△か☆を塗りつぶそう。

似ているところ：○ 異なるところ：△ 片方にしかない特徴：☆

1年 組 番 氏名

